

地下水の環境調査地点の選定方法について

地下水の環境調査は定点調査とメッシュ調査に分かれており、それぞれ次のとおり民家の井戸をお借りして調査地点を選定している。

1 定点調査

市内の井戸の分布を考慮しながら18地点の定点調査地点を設定し、隔年でそれぞれ9地点を調査している。



地下水質測定地点図(測定計画定点調査)

2 メッシュ調査

市内を2kmメッシュ(全37メッシュ)に分割し、次のとおり4年間のローテーションで調査を実施している。

平成30年度	9地点
令和元年度	9地点
令和2年度	9地点
令和3年度	10地点

家庭系資源化率について

(1) 算出方法の概要

家庭系ごみに占める資源化量の割合

① 家庭系ごみ	② 家庭系焼却ごみ 普通ごみ、粗大ごみ・小物金属（可燃物）
	③ 家庭系資源化物 粗大ごみ・小物金属（金属類）、 空き缶、ペットボトル、空きびん、 ミックスペーパー、プラスチック製容器包装 資源集団回収 など

$$\text{家庭系資源化率} = \text{③} \div \text{①}$$

(2) 資源化量の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
家庭系資源化率	29.1%	28.5%	27.7%	27.2%	26.6%	26.2%
家庭系ごみ量	351,924t	351,294t	344,827t	342,761t	338,437t	338,997t
家庭系資源化物	102,298t	100,021t	95,524t	93,129t	90,142t	88,758t

(3) 特に減少傾向にある資源化物

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
資源集団回収	46,654t	45,048t	42,773t	40,811t	38,642t	36,863t
ミックスペーパー	14,063t	13,618t	13,010t	12,530t	11,897t	11,409t